

令和6年5月1日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



歴史文書館初の刊行物！

～コロナウイルス禍における市政と市民生活を後世へ～

長岡市 長岡市史双書『新型コロナウイルス感染症と史料保存』

長岡市は、新型コロナウイルス感染症を取り上げた歴史資料集として、長岡市史双書 No. 62『新型コロナウイルス感染症と史料保存 長岡市歴史文書館の試み』を刊行しました。

長岡市歴史文書館として初の刊行物となる本書では、「ながおか市政だより」をはじめとする長岡市の広報誌の記事や、市役所の各部署が発出した文書、記録写真などの関係資料を収録。ウイルス禍が及ぼした市民生活への影響や長岡市の対応・対策などを、歴史文書館が2年にわたって収集した資料からたどります。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知・紹介に御協力いただくとともに、取材くださるようお願いします。

長岡市史双書 No. 62

『新型コロナウイルス感染症と史料保存 長岡市歴史文書館の試み』

- 1 体裁 B5版 149ページ 口絵カラー8ページ
- 2 内容 市役所各部署から収集した関係資料より、ウイルス禍における市政と市民生活のすがたを伝え、長岡市の感染症への対応と対策を語り継ぐ取組みを紹介します。
 - ・中村 元氏（新潟大学教授）による解題
 - ・広報誌の関係記事見出し一覧
 - ・新型コロナウイルス感染症関係略年表このほか、ウイルス禍における広報誌や掲示物などの図版を多数収録！
- 3 価格 1,500円
- 4 頒布場所 長岡市歴史文書館 ほか
- 5 その他 秋に本書をテキストとした「長岡市史双書を読む会」を開催予定です。



▲表紙は、新型コロナウイルス感染症犠牲者の慰霊と早期終息を祈願する花火と長生橋

問い合わせ：歴史文書館 広井
TEL 0258-36-7832